

# 東日本大震災 対策本部情報

108号

2011/07/5

## 職場を残すために共に闘う！ 激励会を開催 大船渡線営業所分会運転士11名が一ノ関運輸区に転出！

7月4日、大船渡線営業所分会は、一ノ関運輸区に転出する運転士11名の激励会を開催しました。3月11日の大震災で、大船渡線営業所は沿岸地域の線路の大部分が津波に流されました。大船渡線は一ノ関～気仙沼駅まで運転が再開されたものの、運転士は4ヶ月間の自宅待機となっていました。

7月1日から一ノ関～気仙沼駅間の一往復を大船渡線営業所の運転士が乗務しています。しかし、従来7行路あった乗務行路が1行路と大幅に削減されるため、今回11名の運転士が7月8日に一ノ関運輸区に転出することになりました。

激励会では、いまだに復旧の目処がたたず、自宅待機が続いていたが、一ノ関から行路を移管し、ようやく乗務が再開される喜びと「11名が転出して寂しい」「職場で経験したことを生かしたい」など、思い出を語りあい、大船渡線の職場を残すために今後も奮闘していくことを確認しました。

また大船渡線でも「気仙沼～陸前矢作駅間（陸前高田市）は、大きな被害はうけていない。陸前高田に希望を与えるためにも、早急に運転を再開させるべきだ」などの声も出されていました。



J R東労組本部